

2010年6月期の概況



株式会社インネクスト

(証券コード：6660)

2010年9月14日

目次



目次

I. 2010年6月期の概況

- 1. 業績ハイライト … P.4
- 2. 業績の推移 … P.5
- 3. 貸借対照表 … P.9
- 4. キャッシュ・フロー … P.10

II. 今後の展望

- 5. 液晶機器事業の展開 … P.12
 - ・タッチパネル
 - ・液晶パネル
 - ・有機EL
 - ・事業展開

III. 添付資料

- 6. 会社概要 … P.17
- 7. 当社の変遷 … P.18
- 8. 事業構成 … P.19

免責事項

本資料に掲載されている、株式会社インネクストの予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。

実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社経営陣が予想した数値と異なることもあり得ます。

I. 2010年6月期の概況



1. 業績ハイライト

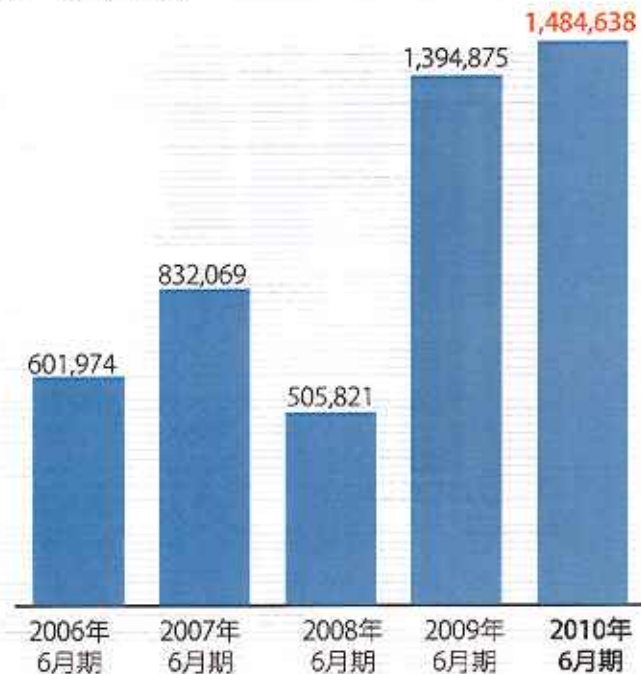
(百万円)

	2009年6月期	2010年6月期	増減 金額	比率	2010年6月期 計画	2011年6月期 計画
売上高	1,394	1,484	+90	+6.4%	1,745	2,172
売上総利益	490	527	+37	+7.5%	—	—
営業利益	129	123	△6	△4.5%	133	171
経常利益	59	38	△20	△35.1%	122	124
当期純利益	56	81	24	42.7%	121	112
総資産	1,052	1,347	+294	+28.0%		
純資産	239	375	+136	+57.1%		
自己資本比率	22.5%	27.7%	+5.2	ポイント		

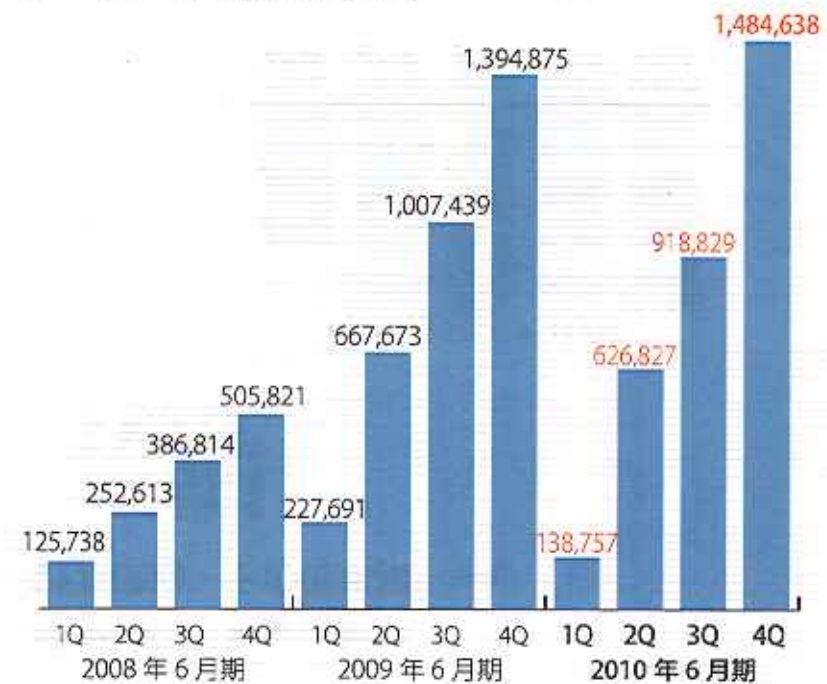
当初の計画値を下回ったが、売上高、売上総利益、当期純利益は、前期に比べ増加、過去最高となる数値を計上。

2. 業績の推移：売上高

売上高 (千円)



売上高 四半期累計 (千円)



当期の売上高は、前期比89百万円 / 6.4%増の1,484百万円。

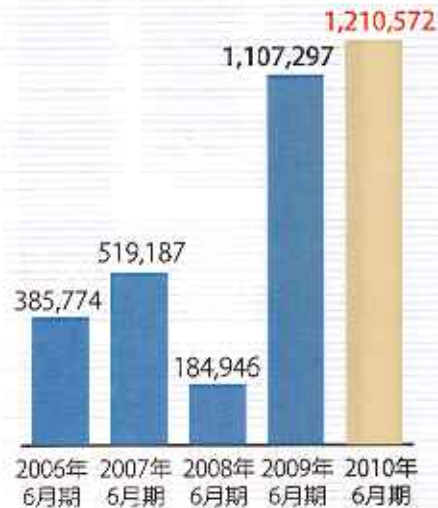
主な要因：

液晶機器事業において、液晶製造装置並びに国内大手企業に向けた液晶装置技術を利用した医療関連装置の販売などにより、液晶機器事業の売上が前期比9.3%増の1,210百万円となり、全体では前期比6.4%増の1,484百万円。

2. 業績の推移

部門別売上高

液晶機器事業 (千円)


 医療機器・産業機器・
計測機器・その他事業 (千円)

- 医療機器事業
- 計測機器事業
- 産業機器事業
- その他事業



液晶機器事業：スマートフォンや電子ブック、液晶テレビ等の好調な販売を背景として、液晶製造装置の販売が増加したとともに、国内大手企業向けの液晶装置技術を利用した医療関連装置の販売などにより、売上高は前期比 9.3% 増の 1,210 百万円。

医療機器事業：内視鏡、超音波メス、マンモグラフィ、CT 装置などの案件で、当社フットスイッチを使用した試作機の評価テストが進行しているが、量産開始は 2011 年以降の見込み。主力顧客への販売が堅調に推移したが値下げの影響により、売上高は前期比 1.4% 減の 105 百万円。

計測機器事業：国際海事機関 (IMO) が船舶塗装に関する新基準を定めたことに伴い、造船会社は塗装品質の向上に向けて塗装設備を増強。測定機器の需要拡大が見込まれるなか、商品ラインナップを大幅に拡充し販促を図ったことにより、売上高は前期比 10.3% 増の 53 百万円。

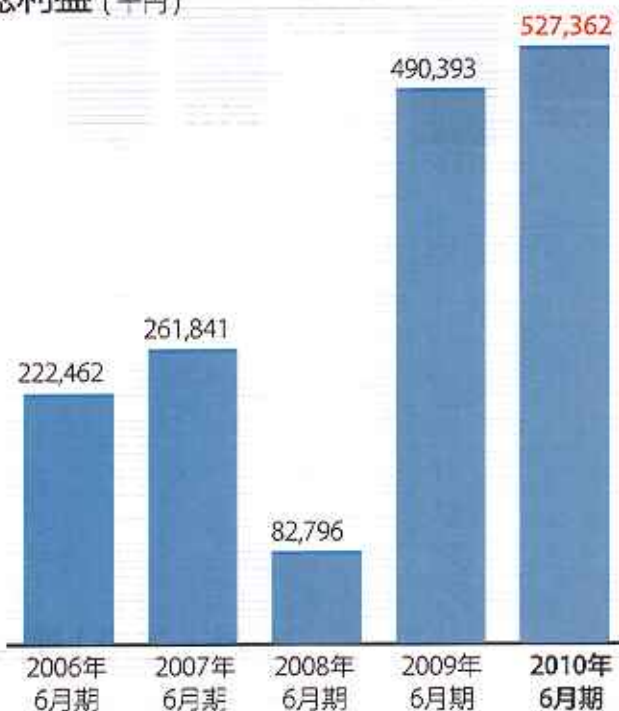
産業機器事業：安全制御機器製品の販売が、電子部品・半導体産業の需要回復などに伴い、下半期にかけて回復。しかし、幅広い業種で設備投資が抑制されており、工作機械需要が引き続き低い水準であることなどにより、売上高は前期比 29.8% 減の 66 百万円。

2. 業績の推移

売上総利益 / 営業利益



売上総利益 (千円)



当期の売上総利益は、前期比36百万円 / 7.5%増の527百万円。

主な要因：

売上高の増加、並びに売上原価率の改善により増加。
売上総利益率は、前期より0.3ポイント改善し35.5%。

営業利益 (損失) (千円)



当期の営業利益は、前期比5百万円 / 4.5%減の123百万円。

主な要因：

重要な収益の計上基準の変更による繰延延払利益控除
6百万円の計上、販管費の増加36百万円。

2. 業績の推移

経常利益 / 四半期純利益

経常利益(損失) (千円)



当期の経常利益は、前期比20百万円、35.1%減の38百万円。

主な要因：

営業外費用で、為替変動に伴うデリバティブ評価損34百万円、為替差損33百万円を計上。

当期純利益(損失) (千円)



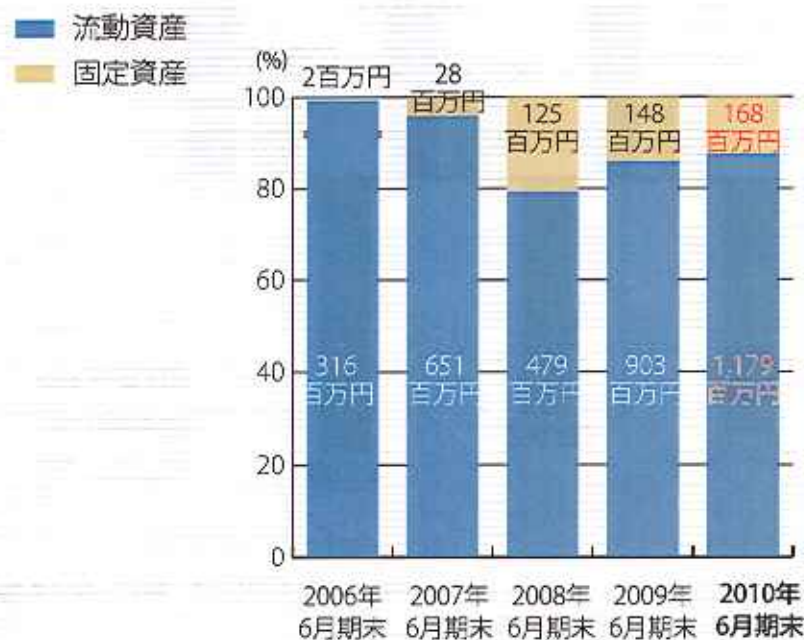
当期純利益は、前期比24百万円、42.7%増の81百万円。

主な要因：

税効果会計の適用に伴い、法人税等調整額32百万円を計上。

3. 貸借対照表

資産



負債・純資産



- ・流動資産は、売掛金の増加318百万円、及び現金及び預金の減少74百万円などにより、前期末比275百万円増の1,179百万円。
- ・流動負債は、短期借入金の増加124百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加41百万円、及び買掛金の減少93百万円などにより、前期末比106百万円増の793百万円。
- ・純資産は、資本金、資本金準備金がそれぞれ14百万円増加、繰越利益剰余金の増加81百万円により、前期末比136百万円増の375百万円。

4. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー (千円)



現金及び現金同等物 (千円)



- ・営業活動によるキャッシュ・フロー： 203百万円の支出。税引前純利益49百万円に対し、増加要因として減価償却費85百万円、デリバティブ評価損の増加34百万円、減少要因として売上債権の増加315百万円、仕入債務の減少93百万円を計上。
- ・投資活動によるキャッシュ・フロー： 95百万円の支出（前期は79百万円の支出）。有形固定資産の取得による支出79百万円、投資有価証券の取得による支出14百万円を計上。
- ・財務活動によるキャッシュ・フロー： 247百万円の収入（前期は230百万円の収入）。短期借入金の純増額124百万円、長期借入れによる収入155百万円を計上。
- ・現金及び現金同等物： 期末残高は、前期末に比べ79百万円減少し135百万円。

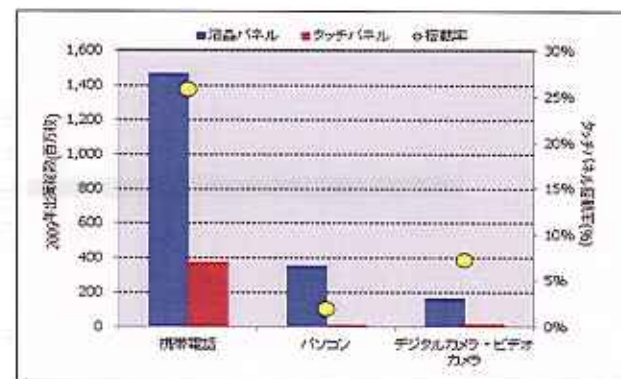
II. 今後の展望



5. 液晶機器事業の展開

■ タッチパネル

当社は、2007年に中国企業へタッチパネル製造装置を納入。その後、タッチパネル市場はiphoneの登場等により大きく拡大しており、今後も様々な機器へ搭載される見込みです。



携帯電話のタッチパネル搭載率は26%に増加

当社製造装置の強み

- レジスト塗布工程（フォトレジストを基板上に薄く均一に塗布）において、「スリットコーター」を使用。「スリットコーター」は取扱メーカーが世界でも数少なく、日本メーカーの技術が最も進んでいる最先端の装置。
- リニアでスライドするノズルを用いて、ガラス基板にレジスト液を塗布。従来のスピncerコーターに比べ、高い塗布精度、そして製造コストの低減を実現（塗布精度は、パネルの画質やタッチパネルの操作に影響）。
- 当社スリットコーターは高性能且つ高いコストパフォーマンスを実現。

- 高性能：低粘度から高粘度まで塗布可能（粘度：1～50cps）
- 高精度：ユニフォームティ（均一性）±3%以内
- 高機能：NOZZLE交換時間の大幅短縮（所要時間：数分）



■ 液晶ディスプレイ

当社は、高画質・高精細・超薄型なディスプレイ向けの出画検査装置に強みを持ちます。液晶が白黒からカラーとなり、さらに高画質・高精細・超薄型へと進化するなかで培ってきたノウハウを活かし、3D液晶、電子ペーパー、有機ELの分野へと販売拡大を図っていきます。

東芝モバイルディスプレイ (TMD)

TMDは、中小型サイズの高精細液晶パネルを製造。東芝、パナソニック、NEC、富士通、ソニーエリクソン等の携帯電話向けの液晶パネルや、3D液晶パネル、有機ELを製造。これらのパネルの生産において使用される出画検査装置は、すべて当社が納入。



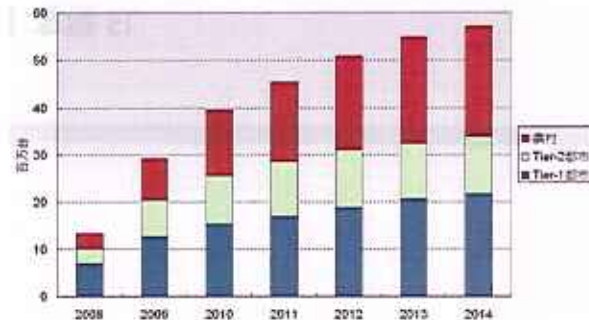
出画検査装置

液晶パネルを点灯、テストパターンを階調を変えて表示させ、欠陥、色度、色ムラ、コントラストなどを検査する装置で、製造ラインの最終工程で使用。

IVO

中国の大手液晶ディスプレイメーカー。当社の出画検査装置は、技術力・価格競争力が評価され受注。中国液晶テレビ市場は、今後も農村を中心に拡大する見込みであり、それに伴う液晶パネルの増産が見込まれる。

中国 液晶テレビ市場の推移



家電下郷政策 ～農民の家電購入補助

- ・対象：9品目（カラーテレビ、冷蔵庫、洗濯機、携帯電話、PC、湯沸かし器、エアコン、電子レンジ、IH調理器）
- ・補助比率：13%
(補助金上限 製品に応じて 78 元～ 520 元)
- ・開始時期（地域により異なる）：2007 年 12 月～、2008 年 12 月～、2009 年 2 月～
- ・期間は 4 年間

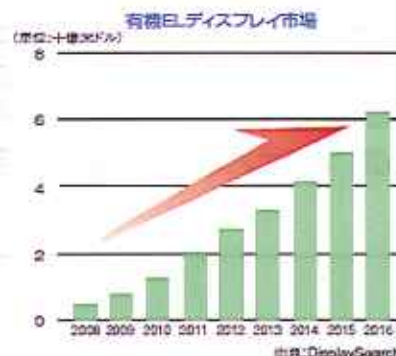
■ 有機 EL

当社は、世界有数の、有機 EL ディスプレイおよび照明の製造装置ラインを構築できる企業です。有機 EL に関する高い技術とノウハウをもち、高品質な設備を、短期間、低価格で構築することができます。

有機ELディスプレイ



当社構築 有機EL製造ライン



高画質、省電力の有機ELディスプレイは、既に携帯電話やデジタルカメラの一部機種で使用されていますが、量産技術の進展に伴い、その市場は今後、大きく拡大する見込みです。

■次世代照明



今後、市場の拡大が見込まれる次世代照明分野への進出を図っています。現在、大型プロジェクト案件が受注に向けて進行中です。

■ FPD 分野、ソーラーパネル、次世代照明分野へ事業を展開し成長を実現

売上高



液晶パネル

- ・高精細化
- ・3D 液晶

タッチパネル

- ・iphone などの販売拡大

有機 EL

- ・高精細、省エネ
- ・量産技術進化

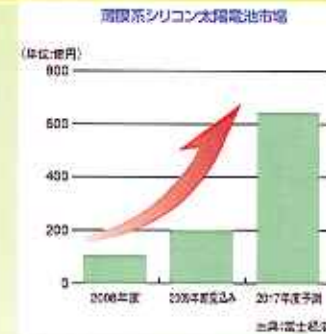
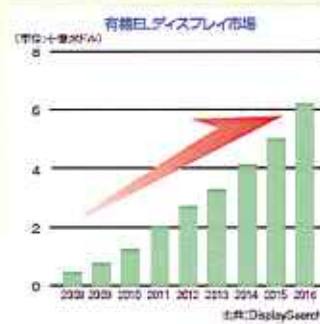
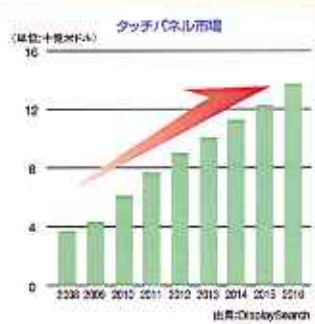


ソーラーパネル

- ・世界における成長分野
- ・変換効率向上への取組み強化

次世代照明

- ・省エネに貢献する次世代照明
- ・世界で市場拡大の見込み



事業分野

III. 添付資料



6. 会社概要 / 株式情報

2010年6月30日現在

設立 2003年10月
 資本金 180,612千円
 代表者 代表取締役社長兼 CEO 那須 郁雄

証券コード 6660

役職員数 22人

本社・工場住所 東京都品川区西五反田二丁目18番2号
 五反田KYビル

連絡先 03-5759-6660

事業拠点

本社・工場住所： 東京都品川区西五反田二丁目18番2号

川崎開発センター：神奈川県川崎市中原区宮内一丁目19番5号

関西事業所： 京都市下京区七条通り猪熊東入ル西八百屋町136

社名「インネクスト」の由来

次の時代、未来（NEXT）を創造していくチカラ、先陣をきって
 進んでいく（IN）チカラで、新しい世界への架け橋となっていく。

発行可能株式総数 124,960株
 発行済株式の総数 47,390株
 株主数 1,632名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
グロースファンド10号 業務執行組 株式会社GIP	8,000	16.88
株式会社一や	3,000	6.33
東神電気株式会社	2,800	5.90
FP・L-2号投資事業組合 業務執行組 株式会社エフピー・リンク	2,100	4.43
グロースキャピタルファンド1号 業務執行組 株式会社GIP	2,000	4.22
スリープログループ株式会社	2,000	4.22
ジャフコV2 共有投資事業有限責任組合 無限責任組 株式会社ジャフコ	1,700	3.58
那須 郁雄	1,537	3.24
岡本 和久	1,500	3.16
MS 投資事業組合3号 業務執行組 株式会社マネジメントサポート	1,000	2.11
岡本 真央	1,000	2.11
株式会社証券保管振機構	1,000	2.11

7. 当社の変遷

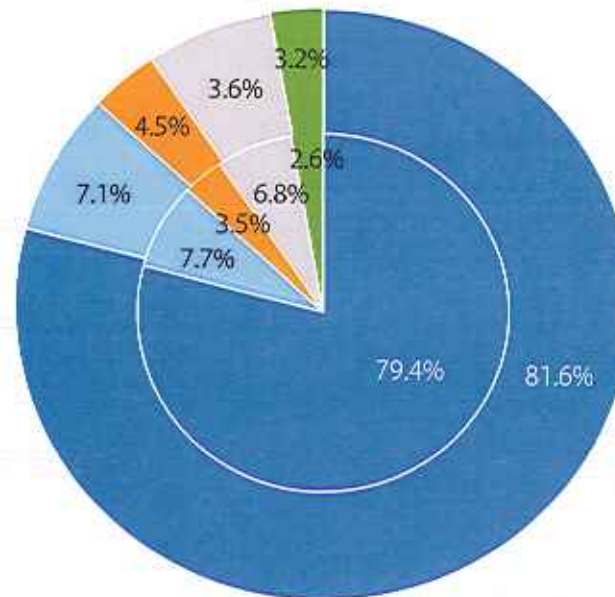


全社	■ 2003年10月 フォトニクスソリューションを設立		■ 2006年11月 「インネクスト」に社名変更		■ 2007年12月 フォトニクスグループから独立	
	■ 2005年11月 日本証券業協会 グリーンシート銘柄指定		■ 2007年2月 札幌証券取引所 アンビシャス市場上場		■ 2007年9月 品川区に 本社移転	
事業	■ 2004年12月 医療機器事業 を開始		■ 2005年2月 液晶機器事業 を開始		■ 2007年11月 関西事業所 を設立	
	■ 2005年3月 計測機器事業 を開始		■ 2005年10月 産業機器事業 を開始		■ 2008年10月 川崎開発センター を設立	
従業員数	4名		10名		12名	
	17名		21名		24名	
	2004年 6月期		2005年 6月期		2006年 6月期	
	2007年 6月期		2008年 6月期		2009年 6月期	

8. 事業構成

売上高構成比

内側：2009年6月期 外側：2010年6月期



■ その他事業
通販向け商品販売など

■ 産業機器事業
独シュメアザール社の
安全スイッチを輸入・販売。



■ 計測機器事業
英エルコメーター社の
塗膜検査機器を輸入・販売。



■ 液晶機器事業
FPD（液晶、有機EL、タッチパネル、
電子ペーパー等）の検査装置・製造装置
の開発・製造・販売。



■ 医療機器事業
独シュトイテ社のフットスイッチや
独リグリング社の医療廃棄物収納
ボックスを輸入・販売。



